

将来の進路に向かって

家族の方と良く話し合って、後悔のない進路選択をしてください。

お世話になった事業所一覧表

(順不同)

大和家具
関西スーパー南堀江店
食品館桜川店
ライフ西大橋店
ライフなんば店
ダイキなんば店
イオン大阪ドームシティ店
大野記念病院
日新会ケアビレッジ九条
北堀江病院
西区在宅ディサービスセンター
すみれ動物病院
大阪動物医療センター
Dogs Come Home
DOGGIE HOUSE BAMVSH
特別養護老人ホームなにわ
日生病院
多根総合病院
メリーガーデン保育園
西保育園
西六保育園
YMCA あわざ保育園
浪速さくら保育園
ソフィア南堀工保育園
川口聖マリア幼稚園
恒文幼稚園



像ひつみだい つみのなかへも るひなはくとくにひつひ
ねで しもひかへるの みひだくはくひつひ
みかへしたは職業じつこじゆの しもひかへだく
わざの職業の中から 選ぶ作業をじだかりしていかな
れねばならぬから。 そのために、何をじなむねなら
ないのか、物ぐたむかねばならぬから。 その目標に向か
つて、三年生は一步踏み出しました。 高校や専門学校に
進むかへる者 就職をむかへる者 じかからいの進む道が
違つてあります。 三年生は、10月3日の土曜授業後に
保護者の方々を対象とした進路説明会を行つました。
今後、土・日曜日や冬休みなどした利用して、進路希望
の学校には実際に行つて、自分の田と足で確認してお
いてください。 願書を出す時と初めて学校に行つたと
いふのと少しのなつめり、注意しておこしていただけ
い。 自分の学業の夢を鑑み、自分の適性や能力を理解

将來の進路に向かってこの協力ありがとうございました。
2年生 職場体験

「今來の進路を御教示いたる」、20回間、55か所の地域の事業所の、「潜力のゆえ、2年生は職場体験をさせていただきました。すべての仕事を体験する上では不可ですが、「働く」とはむづかしいとかを生徒に教えてやれ、自分の進路を見つめさせよ。今來、自分の人生をじのよひに働く上に役立つか、職業について学習したり、社会のマナーや厳しさなどを体験する。地域社会の一員であるとの田舎を抱つて山の田舎で行つたものです。1年間力でいたしました企業・事業所の方々に厚い感謝申しあげます。

普段は学校で指導を受けてくる「おこなひやうせん・返事・聞く態度・じこひがゆゑ」、あるいは本調査結果の「ありようなど」が社会ではじめたり大切だ!」とか、直接接觸してみる機会をもたらされました。

いのみには体験を重んじ、曲文をよく聴いたが、これが
かうせ、曲文に対するより深い聴き回しかねば、このよつ



な手本を何があるかを見つめながら、中学校での生活を有意義に過ごし、社会に出た時、自分の才能が十分發揮できるものだ、今、基礎固めをしていただこう。

中江浦 ほりえ

笑理誇り 顔想い 11月号

H27
11. 30



発行者



1年生 ユニセフ(国際理解)学習協力

11/13 (金)

一世界がもし、100人の村だったら

将来、みんなが住みよい社会をつくるためには、自分のこと以外にも関心を向け、様々な人たちが快く過ごせる社会をつくることが大切です。今回1年生は、ユニセフ（国連児童基金）の国内委員会大阪ユニセフ協会の協力で、世界で起こっている問題を実感する目的で、13日(金)に体育館で学習会を行いました。

ユニセフの活動の説明の後、生徒にカードが配されました。そのカードを使って、ゲーム形式で学習します。そのカードには地域（アジアやアフリカなど）、識字（文字が読める、読めないなど）、富（富裕や貧しいなど）が世界を100人に見立てて世界の現状を参考に記入されています。そして、地域別に集まつたり、文字が読める、読めないという条件で集まつたりしながら、世界の現状を体感するというのです。自分の知っている範囲だけでなく、世界に目を向け、皆さんの置かれている状況が疊まれた状況であることを実感するとともに、困っている人々の状況を学習し、自分ができることは何かを考える機会にしてほしいと思います。



道徳研究授業、研究発表会

11/20 (金)

20日（金）、1年4組、2年3組の学級で、道徳の研修授業を行いました。1年生の教材は小学校でも使われている「泣いた赤おに」。2年生は、



一人一人が経営者

僕にとって「税金」とは、知っているようで実は全く知らない、そんな存在です。ニュースや新聞でよく「税金」という言葉を目にはしますが、正直、深く考えたことは一度もありません。しかし、大人になればそんなことは言つていられないで、この作文を通して、僕たちの身近にある税金について学習してみました。

まず、税金は僕たちが生活する中で、無くてはならないものです。学校、警察、道路など僕たちが日々の生活の場として利用するものはほとんど税金が関わっています。そんな税金は、国民である僕たちが出し合っています。つまり、自分たちが受ける社会保障や教育は自分たちが買っているということです。僕はこの仕組みを、改めて素晴らしいと思いました。人々が税金を出し合い、それらを元手に国や地方公共団体が、国民の生活を、より安心・安全なものにする。税金を通して国民と国が繋がっている。

しかし、日本を飛び出すと、このような繋がりのない国々がたくさん存在します。きちんと教育を受けることができない、警察が機能していないなど、僕たち日本人にとって考えられないことが他国では普通だったりします。僕は中学一年生の時、カンボジアに行きました。そこでは、学校に行けないどころか、今日生き延びるのも苦しいという子どもたちがいました。僕はその時、改めて、自分は本当に恵まれていると感じました。日本では税金制度のおかげで、これといった不自由なく生活することができます。これは特別なことです。このことを念頭に置いてこれから生活していくうと思います。

ところで、「国」というのは税金を中心に成り立っています。つまり、納税することは「国を支える」ということです。一人一人の納税は小さなですが、僕も、家族も、友達もみんな納税しているのでとても大きな力で国を支えていることになります。みんなが納税するのをやめると、国は潰れてしまいます。このようなことから考えて僕たちは「経営者」といえるのではないかでしょうか。「国」という大きな組織を国民一人一人が経営している。だから、責任を持つ必要があります。自分たちが納めた税金はどこでどのように使われているのかきちんと理解したうえで、自分が国を支えているということを自覚し、責任を持って納税することが大事だと思います。僕はこれらのこと踏まえて、自分も社会の一員として、誇りを持って税を納めようと思います。



【税の作文】

中学生の部

- 全国納税貯蓄組合連合会長賞
3年 矢野太士君
- 西税務署長賞
3年 西川夏菜さん
- 公益社団法人西納税協会長賞
3年 森田優吾君



【税の標語】

中学生の部

- 最優秀賞
「税金はみんなの笑顔を守ってる」
堀江中学校 3年 藤定花菜子さん
- 優秀賞
・岡本奈穂さん
・宮尾佳歩さん

本校の取り組みの柱の一つである情報モラル教育に関連した教材「軽い気持ちで書いたのに」というものでした。両方の学級も、よく発言もあり、後の研究協議の中でも生徒の頑張りがよくわかりましたというお褒めのお言葉をたくさんいただきました。その研究協議では、熱心に話し合いが行われ、たくさんの意見が出されました。これらの意見を参考に今後の道徳授業を考えていきたいと思います。



編集後記

皆さんの授業のようすを見せてもらっています。まだ、数クラスは参観できていません。集中して授業を受けているクラスや楽しそうに笑い声が絶えない授業、発言や発表が活発なクラスなどさまざまな様子がうかがえて楽しいです。ただ、授業に集中できていない人もいます。「誰かに注意されるのを待っていませんか?」後悔、先に立たず」ですよ。



税の作文、標語 表形式

11月17日(月)

11月17日(月)に、3年生の「税の作文」と「税の標語」の表彰式が行われました。本校からはたくさんの作品が出され、優秀な結果でした。その中で、全国納税貯蓄組合連合会長賞をいたいた矢野君の作文を左に掲載しました。

